第6回全国胡蝶蘭部門近畿研修会報告

「Create　the　Future　近畿」
生産者の数だけ未来がある。
---生産者こそ時代の創造者---

を、テーマに平成23年10月28日（金）大阪市鶴見緑地花博記念公園で研修会を行いました。前日の夕刻より台湾から来日いただいた多くの方と日本の生産者が懇親会形式で交流を深め、研修会翌日には近畿の市場と幾内での生産圃場の視察を行いまいした。

全日程を通し日本花き生産協会洋らん部会胡蝶蘭部門と近畿洋蘭振興会に所属する近畿研修会実行委員会が幹事となり、日本全国から胡蝶蘭生産者や市場・小売店、運送・資材業者、行政・学識者・協会団体などの業界関係者、また台湾からも種苗関係業者として多くの胡蝶蘭生産者や大学教授、行政機関の指導者・研究者など、さらに大阪府下の花き生産者にて総勢192名が参加する研修会を行いました。

研修会当日は2ブロックに分け午前中は台湾他海外の種苗、苗育成生産者や研究者と日本の生産者や研究者で生産技術や品質・コスト、物流に至るまで現状の問題や将来への展望、また今後の課題を協議いたしました。

午後からは開会式を経て胡蝶蘭業界討論会を行いました。主な課題は
市場・小売店の流通での課題として

- 流通の中での市場の役割
- 国産、輸入切り花の現状と今後の動向
  （国産切り花に求めるものは）
- 小売店の胡蝶蘭の管理方法・栽培知識
- 売れ行きの現状と今後の動向
  （商品スタイル・独自性）
- 他

台湾を主とする種苗業者との課題は

- 苗の出荷基準
- 世界の中での日本の位置付け
- 他

運送・資材業者との課題は

- 大型花き商品としての取扱の問題点
- 他

行政及び学識者による課題としては

- 花き全般の需要拡大への施策
  「フラワーバレンタインの概要説明」
- 他

最後に私たちが所属する日本花き生産協会洋らん部会の活動課題として

- 市場の運営への生産者の立場や考え方
- 需要が低迷する中での今後の取組み （業界が一体となったプロモーション活動など）
- TPP・FTA などの自由貿易による花業界への影響
- 会員の県単位での脱退の問題
- 他

低迷する花き業界においての多くの課題に対し多くの方々から討論されました。

一つの答えを見つけ結論するのではなく参加された方の一人一人が答えを模索することで多様化し業界の根底を広げ、消費者の選択肢が広がり満足感が深まれば、今後の胡蝶蘭業界を発展させることと考え参加者から議論をいただきました。今後を十分に期待できる研修会となりましたことを報告いたします。

また、同時に企画いたしましたフラワーフェスティバル in 近畿2011の参加商品数も国内生産者より約60点、中華盆花発展協会様のご協力が約50点と合計110点ほどの胡蝶蘭を新品種を含め多くの方に紹介いたしました。

最後になりましたが近畿農政局様、大阪府初め各県の農政の皆様、畿内の各花き生産協会・連合会様のご協力をいただき有意義な研修会を行うことができましたことに感謝と御礼を申し上げ報告をさせていただきます。